



まちの話題

10月26日 戸沢公にゆかりのある自治体が一堂に高萩でサミット

江戸時代初期に高萩地方を治めた初代松岡城主・戸沢政盛にゆかりのある5つの自治体による「第1回戸沢サミット in 高萩」が文化会館で開催されました。基調講演やパネルディスカッションなどで戸沢公について理解を深め、5自治体の市長・町長が「歴史を共有する都市として、今後相互に協力し、さらなる関係の拡大と互いの発展を目指す」などとするサミット宣言を採択し幕を閉じました。



災害相互応援協定書を手にする
(左から)深谷政光雫石町長、山尾順紀新庄市長、草間市長、門脇光浩仙北市長、島田穰一小美玉市長



基調講演をする八幡和郎先生

このサミットは、戸沢公にゆかりのある5つの自治体が戸沢公の功績を顕彰し、また、相互協力して新たなまちづくりを行おうと高萩市の働きかけで実現。戸沢家第15代当主戸沢充様ご夫妻をお迎えし、5自治体の市民や行政関係者ら約600人が参加しました。基調講演では、徳島文理大の八幡和郎教授が「戸沢家に関連する5つの地域の間では、移動に伴い一緒に移った家臣もいる。400年前にさかのぼれば、親戚という人もいるのではないかと参加自治体の繋がりを教示。パネルディスカッションでは、戸沢氏にゆかりのある雫石町長、仙北市長、新庄市長、小美玉市長、高萩市長がパネリストとして参加。各地に残る戸沢氏のエピソード、戸沢氏の功績などが披露されました。また、大規模災害時に支援物資の提供や職員の派遣などが盛り込まれた災害時相互応援協定が締結され、参加自治体の関係がさらに強固になりました。



パネルディスカッションのコーディネーターを務める元NHKアナウンサーの好本恵さん

戸沢サミットは今後、各市町の持ち回りで毎年開催し、次回は山形県新庄市が会場となります。

11月8日 一日消防長が防火呼びかけ

11月9日から15日までの「秋季全国火災予防運動」を前に、高萩市消防本部は、高萩それいゆ病院勤務の遠藤真奈美さんを一日消防長に任命しました。辞令交付式で草間市長が「空気が乾燥して、火災が起りやすい時期。一緒に防火を呼びかけてください」と激励し、遠藤さんは「病院では放射線科の助手を務めています。同じ命を守る仕事で共通するものを感じます。今日の経験を職場や家庭で活かしたい」と話していました。遠藤さんは、辞令書とタスキを受け取った後、消防職員への訓示や服装点検、市内事業所の立ち入り検査などを行い、火災予防をPRしました。



服装点検をする遠藤さん (写真左)

3月				2月					1月			
31日	29日	27日	10日	25日	14日	7日	5日	1日	30日	25日	6日	5日
「高萩歴代領主」を発行	防炎行政無線応答システムの運用開始	請に関する覚書」を締結	茨城海上保安部と「災害時における放送要請に関する覚書」を締結	高萩市消防団第三分団(安良川)の新詰所が完成	参加	津波を想定した防災訓練 市民約800人参加	高萩市消防団第三分団(安良川)の新詰所が完成	環境省が「指定廃棄物の最終処分場候補地選定に係る経緯の検証及び今後の方針」を発表 28日に環境副大臣来訪	「近世大名初代松岡城主戸沢政盛公物語」を発行	環境省が「指定廃棄物の最終処分場候補地選定に係る経緯の検証及び今後の方針」を発表 28日に環境副大臣来訪	「近世大名初代松岡城主戸沢政盛公物語」を発行	「近世大名初代松岡城主戸沢政盛公物語」を発行

高萩市この1年

平成25年もあとわずかになりました。みなさんはどのような1年を過ごされましたか？ 高萩市のこの1年の出来事をふりかえってみます。

平成25年

消防出初式
常陸国風土記「高萩編」発行
花貫川第一発電所第二号水路橋(めがね橋)が土木学会選奨土木遺産に
旧高萩工業高等学校校跡地を県から取得





11 8 サケの一生を学ぶ 秋小児童が採卵体験

秋山小学校の3年生63人が、花貫川でサケの採卵と受精作業を見学しました。この事業は河川の環境保護に努める「花貫川清流の里づくり会」が子どもたちにサケの生態や命の大切さについて知ってもらおうと昨年度から始まりました。会員が捕獲したサケの腹から真っ赤な卵が現れると児童達から「わあ！」と大きな歓声が上がりました。棚谷いずみさんは「初めて生きているサケを見ました。たくさん生まれてほしい」と話していました。採卵した卵は花貫川清流の里づくり会がふ化させ、児童らが学校で育て、来年春、花貫川に放流する予定です。



採卵した卵は花貫川清流の里づくり会がふ化させ、児童らが学校で育て、来年春、花貫川に放流する予定です。

11 9 高萩市消防団発足 119周年記念式典

高萩市消防団発足119周年記念式典が、高萩市文化会館で行われました。消防団は1894年に設置された消防組が前身。現在は21の分団が日頃から防災活動を行い、災害発生時には、市民の生命・財産を守るため昼夜を問わず活動しています。第1部の式典では、消防殉職者への黙とうが行われた後、分団の活動に長年、協力していただいている6つの後援会に感謝状が贈呈されました。第2部では、あさま山荘事件やよど号ハイジャック事件など数多くの警備を指揮した佐々淳行さんが講演。自身が担当した事件や事故を例に「組織の団結意識を高めるのは、信頼できる指揮官の存在が大きい」など組織と指揮官の在り方について話されました。また、市女性消防団員が演劇を披露。AEDの使用法や住宅用火災警報器の取り付けなどを広く呼びかけました。

11 9 環境美化ボランティア シルバー人材センター

市シルバー人材センターの役員、職員、会員約40人が総合福祉センターで環境美化のボランティア作業を行い、植え込みの剪定や草取りに励みました。シルバー人材センターは、国や市からの補助金で運営・活動をしている公益社団法人。豊富な知識・経験・技能を持ったシルバー世代が、仕事を通じて社会参画することによって、自らの生きがいの充実を図り、地域社会の発展に寄与するのが目的。作業にあたった村田始事務局長は「会員が健康に仕事ができることや社会に貢献できる喜びに感謝して、奉



仕活動に取り組みました」と午前中の約3時間の作業に汗を流していました。



11月	10月	9月	8月	7月	6月	5月	4月
16・17日 高萩市消防団発足119周年記念事業開催	9日 JR高萩駅の発車メロディー「あしたの風とひとつになつて」の放送を開始	27日 「げんたか市民会議（市政懇談会）」を開始	23日 市戦没者追悼式 県トラック協会・大塚製菓と「災害時支援協定を締結」	27・28日 第43回高萩まつり開催	24日 LINE@運用を開始	24日 セッツカートン(株)と「災害時における物資の供給に関する協定」を締結	28日 さくら宇宙公園で第1回クロスカントリー大会開催
1日 「あしたの風とひとつになつて」の放送を開始	5日 穂積家住宅で古民家レストラン『高萩「萩の茶屋」オープン（12/1）』	4日 「明高館」が使用開始	15日 市戦没者追悼式	1日 地域資源を題材とした「萩っ子かるた」完成	24日 LINE@運用を開始	11日 「常陸国風土記全訳注」の著者秋本吉徳教授を招き講演会	1日 「コミュニティFM「たかはぎFM」」開局
	18日 県アマチュア無線奉仕団東北地区分団と「災害時情報通信協定」を締結			9日 長久保赤水関係資料279点が市有形文化財に追加指定		18日 文化会館でNHK公開番組「公開すこやか長寿」を収録	8日 筑波銀行、JTB関東、市観光協会及び高萩市の4者で「高萩市の地域振興に関する協定」を締結
	25日 戸沢サミットを開催					3・4日 常陸国風土記勅撰1300年記念事業開催	